

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課

担当名: 緑地保全・自然再生担当

内線: 3150

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B33	身近な緑の保全事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	身近な緑の保全・創出事業費	
事業期間	平成 4年度 ~	根拠法令	ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例			戦略項目	10 みどりと川の再生		
						分野施策	040101 みどりの再生(身近な緑の保全・創出・活用)		
1 事業概要 売却・開発が行われてしまう緑地(景観地等)を市町村と協力して公有地化し保全する。また、市民管理協定締結団体が継続的に活動できるよう、ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例に基づき支援する。 事業実施における執行残の減額補正 (1) 身近な緑公有地化事業 12,892千円 補助金が当初の見込みを下回ったことによる減額補正 (2) 里の山守活動支援事業 1,203千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 身近な緑公有地化事業(4~3月) 公有財産購入費及び収入印紙代 41,655千円 イ 里の山守活動支援事業(7月) 消耗品等の購入及び講習会費用などに対する補助 1,021千円 (補助期間は最長5年間) (2) 事業計画 ア 身近な緑公有地化事業 適宜適切に公有地化を行い、樹林地の保全を図る。 イ 里の山守活動支援事業 平成28年度末までに20ha(平地林保全促進事業による支援面積を含む。) (3) 事業効果 ア 公有地化により保全できる緑地面積 1.0ha 1.2ha イ 活動支援により保全できる樹林地の面積 7.2ha 8.7ha (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア 身近な緑公有地化事業 市町村と連携し公有地化し、取得後の土地を市町村が管理する。 イ 里の山守活動支援事業 市民団体は支援期間内に保全管理に関する体制を確立し、支援終了後も引き続き樹林地の管理を行う。 (5) 補正要求の概要 ア 公有地化事業における執行残 12,892千円(需用費、公有財産購入費) イ 補助金交付額の減少に伴う減 1,203千円(需用費、補助金)					
2 事業主体及び負担区分 県10/10									
3 地方財政措置の状況 (1) 地方債 一般単独事業(地域活性化事業) (2) 地方交付税(包括算定経費) (区分) 企画費(細目) 環境保全対策費(細目) 環境保全対策費(積算内容) 地域の実情									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.8人=17,100千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		繰入金	県債						
決定額	14,095	1,203	13,000				108	42,676	
現計額	56,771	2,224	54,000				547		